

28期

令和6年度事業報告書

自 令和 6年4月 1日
至 令和 7年3月 31日



社会福祉法人 自洲会

特別養護老人ホーム志津ユーカーリ苑（従来型多床室）

特別養護老人ホーム志津ユーカーリ苑（ユニット型個室）

志津ユーカーリ苑短期入所生活介護事業所

志津ユーカーリ苑通所介護事業所

志津ユーカーリ苑訪問介護事業所

志津ユーカーリ苑居宅介護支援事業所

志津北部地域包括支援センター（佐倉市委託事業）

佐倉市ふれあい配食事業（佐倉市委託事業）

介護職員初任者研修事業

1. 事業概況・運営管理

今年度は3年に1度行われる介護報酬改定の年度であった。4月から見直しがなされ、介護報酬や職員の処遇改善に関する単価が若干上がった。

また、新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことから、入所者家族の面会制限を撤廃。ご家族には施設内への立入りを許可できるようになった。ただし12月には巷でのインフルエンザの大流行があり特養多床室でも多くの入所者が感染し対応に苦慮した。感染症安定期には面会を緩和し、流行期には制限に協力していただくなどご利用者の希望と感染防止の両立を図りたい。

運営面について、特養多床室の稼働率は95.8%だがユニットについては92.2%と低い水準になっているので向上を目指す必要がある。ユニットは年末から年度末にかけて職員の体制が厳しい状況が続き、新規入所者の受入れが滞ったため、稼働率が低下してしまった。通所介護も昨年とほぼ同じ利用者数であるが介護度の低い利用者の増加が影響して収入減となっている。訪問介護は稼働時間が昨年と比較して大幅に改善されているものの常勤職員によるものであり、登録ヘルパーの採用を進める必要がある。

人事労務に関して、新規の採用は技能実習生等の外国人を中心に行ってきたが、訪問介護事業所で介護専門学校令和6年度卒者を採用できた。ミャンマーの技能実習生は5期生2名が年度末に入国する予定であったが現地の国の情勢などの問題で遅れている。日本国内での求人は介護以外の業種でも苦勞している状態であるので、外国人労働者の確保に努め、ミャンマーを中心にしつつも他の国からの受入ルートも今後確保していく必要がある。

2. 法人本部

理事会・評議員会 開催状況

日付	区分	議案・報告
令和6年6月5日	理事会	令和5年度事業報告の件 令和5年度決算報告の件 給与規定変更の件 修学資金貸付制度に係る法人保証の件 評議員会の日時場所議案の件 理事長等の職務執行状況報告の件
令和6年6月26日	評議員会	令和5年度事業報告の件 令和5年度決算報告の件
令和6年11月29日	理事会	令和6年度上期事業報告の件 理事長等の職務執行状況報告の件
令和7年3月25日	理事会	令和6年度補正予算案の件 施設長変更の件 令和7年度事業計画案の件 令和7年度予算案の件 経理規程細則別添1配分基準表承認の件 給与規程変更の件 育児介護休業規程変更の件

3. 特養（多床室・ユニット）・ショートステイ

月間ベッド利用状況

延べ床数：特養多床室60床、ショート10床、ユニット40床

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ショート利用	332	306	254	259	334	320
多床室入院	0	64	108	149	118	92
ユニット入院	1	30	7	0	0	68
空床計	85	142	167	254	196	252
月間稼働率	97.4%	95.8%	94.9%	92.2%	94.3%	92.0%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ショート利用	388	352	328	376	384	402
多床室入院	43	62	14	12	47	38
ユニット入院	127	58	74	85	19	93
空床計	218	186	272	341	258	319
月間稼働率	95.3%	94.3%	92.0%	90.0%	91.6%	90.6%

合計ベッド利用数 多床室（ショート含） 24,553 床

ユニット（ショート含）13,500 床

概況報告

入所系稼働率は 94.7%と低い水準であった。ショートステイ利用数は昨年とほぼ同等であるものの、多床室の年末からのインフルエンザの感染拡大およびユニットが年度末にかけて職員の休職や退職があり新規受入を停滞させてしまったことなどが影響している。

看取り介護に関しては実績を重ね医療機関との連携、家族への説明、眠りスキヤンの導入など体制が整って、安定して家族の要望に応えることができた。

4. デイサービス

月別利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規/追加利用	2	5	2	1	3	3
利用廃止	2	2	1	2	1	3
実利用者数	53	59	62	59	58	61
延べ利用者数	656	705	673	670	651	637
平均利用者数	25.2	26.1	26.9	24.8	24.1	25.5

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規/追加利用	5	0	2	1	1	4
利用廃止	0	1	5	6	5	3
利用者数	62	63	65	58	58	56
延べ利用者数	673	669	640	542	546	557
平均利用者数	24.9	25.7	24.6	22.6	22.8	21.4

延べ利用者数 7,585 人（平均 24.2 人）

概況報告

新人職員にもレクの企画を担当させることで、これまでの定番ではない新しい企画を実施することができたので、ご利用者に喜んで頂くことができた。

12月には巷でのインフルエンザ大流行があったがデイサービスでは、体調が悪い方には可能な限り休んでいただくことで今期は感染症の流行を防ぐことができた。しかし、冬季には体調を崩す利用者が多くなり長期に利用中止となり結果、在宅での生活には戻れず施設への入所となった方が多かった。

職員間での情報共有のツールとして LINEWORKS を利用することとした。簡単に全職員へ情報を発信できることや確認済みであるかも分かるので、今後更に活用していきたい。

5. 訪問介護事業所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規	6	3	9	1	3	2
廃止	3	0	4	1	6	4
生活支援時間	88.5	107.5	124	138	136	94
身体介護時間	190.5	222.5	217	252.5	215.5	201
予防件数	17	19	19	19	19	21
登録者数	51	54	61	59	59	55

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	3	4	3	1	3	3
廃止	2	5	4	6	3	1
生活支援時間	103.5	119.5	119	88	94.5	108.5
身体介護時間	218	225	258.5	206	196	206.5
予防件数	20	21	21	21	24	24
登録者数	53	55	57	53	55	56

延べ提供時間 5,045 時間

概況報告

今年度も登録ヘルパーの採用は困難な状況であり、10月に1名の採用のみであった。常勤職員が業務を調整しながらサービス業務を可能な限り対応するようにしたことによりサービス提供時間のアップをすることができた。引き続き登録ヘルパーの採用に力を入れること、および現在の職員の管理にも力を入れたい。

6. 居宅介護支援事業所.

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規	2	4	9	8	1	6
廃止	6	5	2	6	2	5
給付管理	198	193	202	204	199	196

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	4	2	11	5	3	5
廃止	2	3	7	3	6	5
給付管理	200	202	212	207	205	205

延べプラン数 2,423 件

概況報告

安定した事業活動ができ、予定受け持ちプラン数の200件前後で推移することができた。市内の状況としてはケアマネ不足が深刻であり担当ケアマネを探すまでに時間がかかる利用者も増加して

いる。利用廃止の理由は他界が40%で最も多く、施設入所が31%、長期入院が15%となっている。
数年前から比較的短期間で契約解除となるケースが多く、業務負担増加の要因となっている。

7. 地域包括支援センター（佐倉市委託事業）

（1）介護保険プラン利用者数（担当地区全体分）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規（支援）	5	13	15	11	23	19
廃止（支援）	5	7	9	10	6	7
新規（介護）	6	2	9	12	10	6

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規（支援）	11	15	16	13	13	12
廃止（支援）	7	6	6	6	6	6
新規（介護）	13	15	18	10	16	18

（2）予防プラン給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
センター	61	62	62	61	67	65
委託	245	309	316	335	311	329
給付管理	306	371	378	396	378	394

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
センター	63	57	61	54	57	61
委託	271	288 8	338	331	289	284
給付管理						

（3）相談受付件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
143	148	128	138	117	132
10月	11月	12月	1月	2月	3月
137	142	139	146	153	150

概況報告

ケアマネージャー不足が昨年度以上に深刻化し、予防プランを担当してくれるケアマネージャーを探すのに非常に時間がかかっている。加えて、介護認定者数のうち要支援認定の比率が増加していることも担当ケアマネが見つからない原因と考えられる。

相談内容の状況は 高齢者介護の課題のみではない複合的な課題がある相談が増加している。具体的には引きこもり・メンタル不調・暴力などが同居家族にあり、他の相談機関 特にくらしサポートセン

ターとの連携が重要になっている。

令和7年度からはイオンタウンへの事務所移転するため年度末には移転準備や広報活動を行い、スムーズな移転作業に対応した。

8. 佐倉市ふれあい配食事業（佐倉市委託事業）

（1）延べ配食数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
424	461	394	474	470	485
10月	11月	12月	1月	2月	3月
513	468	473	408	393	385

合計 5,348

概況報告

昨年度と比較して夏から秋にかけて利用者の増加がみられた。年度の総食数は5,348食で昨年度よりも857食増加となっている。その後、冬季にかけて利用中止が多くなり年度末では平均的な食数となった。利用対象者が独居や高齢者世帯であり体調の確認や弁当受渡し時の会話など喜ばれている。配食時の緊急対応は無かった。

9. 初任者研修事業

令和6年7月10日～11月13日までの期間、週1回の講座を開催し実施。3名が受講し全員に修了証の交付を行った。